

令和 2 年度

事業報告

令和2年度は前年度から引き続き、「コロナ禍の中での感染対策」が重要事項であった。感染対策委員長と学院の基幹部門である運営会議が中心となり、学生が迅速に感染対策を実施できるように指示をし、看護学院として授業や実習において単位取得に向けて、対策を実施した。また教職員が一丸となり、マスク、消毒液を確保できた。

1、リモートでの講義

秋田大学や県立大学からの非常勤講師の依頼により、遠隔授業：田畑教務事務によりリモートにより授業を開始した。授業内容は確実に実施できた。学生に講師は質問を投げかけ、学生は答えた。

国試対策の模試授業や講座はリモートで行った。

2、学院行事の中止や縮小

- ① 学院祭、体育祭は中止
- ② 2回のオープンキャンパスは中止であり、個別学院案内とした。50組以上の方の御家族等の訪問をうけ、学院の説明をした。
- ③ 2年次生の勉強合宿は学内とし、学内講堂で2日間の学習を行った。講師はリモートで行った。

3 式典の縮小

2020年（第23期生）の入学式は入学生と教職員で行った。

2020年（第22期生）の戴帽式は戴帽生と教職員で行った。

2020年（第21期生）の卒業式は卒業生と教職員で行った。

4 就職支援

今年度卒業生1名は、秋田県の方針である「県をまたいでの往来は自粛」に沿い、「医療機関と学院内でのリモート面接」とさせていただき無事実施できた。

例年実施している就職説明会は秋田市でのクラスター発生のため、能代市内の3医療機関と限定し、説明会を行った。

5 進学支援

進学に関する要件などを考え進学先（岩手県立大学）に変更し、支援をした。

6 実習に関して

- ① 国の4月「緊急事態宣言」時は東北厚生局の指示を確認し、学内実習や、他医療機関での実習に切り替え、夏休み期間に不足分の実習を組み入れた。学生に対して説明をし、単位修得でき混乱なく実施できた。

② 実習医療機関と学院実習調整教員が感染対策について話し合い、フローチャートを作成した。その都度改正し、感染対策を強化した。

また実習生全員に消毒液ウイルステラを持参させた。発熱状況の確認を強化した。

③ 再実習、追実習に関して依頼し、単位をとることができた。

7、国家試験対策支援事業

国家試験対策委員長が中心となり、プログラムに沿って支援できた。例年通りボーダー学習も個別支援を強化した。国家試験当日は、前夜の地震により仙台、新潟、青森会場が2時間遅れで開始となった。学院への帰宅がお遅くなり引率教員2名によりフォローできた。

8、学生獲得事業

入試委員会が中心となり、高校訪問や、進学説明会に積極的に参加し学院をPRした。オープンキャンパスが中止となり、父兄希望に沿って個別に学校案内をした。

9、学生のPCR検査実施

学生が発熱、咽頭痛などの症状時はかかりつけ医療機関の指示により、PCR検査を迅速に実施した。実習期間においては当該医療機関に報告をし、迅速に対応した。結果が出るまでは当該実習機関の実習は停止とした。

10、教職員の研修

研修に関しては、国の方針に沿って「県をまたいでの研修」は自粛とした。リモートでの研修である。

① 「日本看護学校協議会副学校長・教務主任会」を副学院長、教務主任が受講した。

② 「日本看護学校協議会 東北ブロック研修」：遠隔授業の方法と可能性（副学院長、田中教諭）

③ 「日本看護学校協議会」：厚労省看護職員確保対策特別事業

指定規則改正に伴う看護師養成所カリキュラム改正支援事業
（副学院長）

④ 「日本看護学校協議会 学会」未来につなぐ看護基礎教育～地域で活躍できる看護職の育成に向けて Zoom 参加

2020年度 秋田しらかみ看護学院 行事实績

1. 実績

令和3年3月31日現在

月	日	行 事
4	7	入学式 ※入学生と教職員のみ
	8	臨地実習開始（3年生）～10/22
	15	学院創立記念日
	28	体育祭 中止
6	12	基礎看護学実習Ⅰ―①（1年生）
	16	文化講演会（講師：渡邊正樹） 中止
7	23	国家試験対策特別講義（各学年）～2/23 ※随時
	27	オープンキャンパス 中止
9	23	前期科目修得試験～24日
10	2	学院祭～3日 ※オープンキャンパス同時開催 中止
	2	戴帽式（22期生） ※戴帽生と教職員のみ
	23	防災訓練
	27	成人・老年看護学実習（2年生）～11/12
11	7	推薦入学試験
	13	推薦入学試験合格発表
	13	交通安全・SNS講習会
	17	成人・老年看護学実習（2年生）～12/3
12	7	基礎看護学実習Ⅰ―②（1年生）～11日
1	9	一般入学試験（第一次募集）
	15	一般入学試験合格発表（第一次募集）
2	2	基礎看護学実習（1年生）～19日
	6	一般入学試験（第二次募集）
	12	一般入学試験合格発表（第二次募集）
	14	第110回看護師国家試験
	16	准看護師試験
3	1	後期科目修得試験～4日
	2	文化講演会 講師：渡邊正樹（同窓会長）
	2	特別講義（3年生）講師：大塚博徳（JCHO秋田病院長）
	5	卒業式
	7	一般入学試験（第三次募集）
	10	准看護師試験合格発表
	12	一般入学試験合格発表（第三次募集）
	26	第110回看護師国家試験合格発表

秋田しらかみ看護学院

2020年度事業報告

◎秋田しらかみ看護学院

1 事業報告

○事業および学校行事関連（主な学校行事は別紙参照）

- ・ 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、学院を6日間（4/23,24,27,28,30,5/1）の休校とした。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、入学式および戴帽式は、当該学生と教職員のみで実施した。
- ・ オープンキャンパスを中止し、学校見学を個別対応とした。参加者総数46名。
- ・ 今年から新たに始まった「修学支援新制度」について、県を通し文部科学省に申請、2021年4月から対象校となることが正式に決定した。
- ・ 3月2日、講師に渡邊正樹氏（秋田しらかみ看護学院同窓会長、評議員）を招き、「専門職として学び続ける」という演題のもと、全学生を対象に「文化講演会」を行った。
- ・ 3月2日、講師に大塚博徳氏（JCHO秋田病院長）を招き、3年生を対象に特別講義を行った。

○学生関連

- ・ 1年生44名、2年生38名、3年生43名の計125名でスタートした。
- ・ 退学者、休学者、復学者について

	1年	2年	3年	合計(名)
退学者	0	2	1	3
休学者	1	0	0	1
復学者	0	0	0	0

☆ 退学・休学の理由：「成績不振」「体調不良」

- ・ 昨年結成した「学生消防団」に1年生23名が新たに加わり、2年生16名、3年生8名と合わせ計47名となった。7月15日に1年生の代表者2名と中村教務主任が能代市役所に行き入団式を行った。
- ・ 国家試験対策については、例年通り学年ごとに計画を立て特別講義および模擬試験を実施した。
- ・ 2月14日に実施された第110回看護師国家試験には40名が受験し、39名が合格した。
- ・ 2月16日に実施された准看護師試験には40名が受験し、40名が合格した。

○教職員関連

- ・ 4月から専任教員として、山平良子を雇用した。
- ・ 専任教員9名（近藤美喜、柴田守、中村陽子、佐藤雅子、杉本史、田中多喜子、加藤夏生、鍋谷久美子、山平良子）、教務助手1名（宮腰美穂子）、総勢10名でスタートした。

2 財務概況報告

支出項目ごと精査、予算内執行に努めた。